

グラフィカルUIミドルウェア

Aeropoint® GUI

エアロポイント GUI



「Aeropoint® GUI」は下記の特長を持つ、グラフィカルユーザーインターフェース（GUI）用ミドルウェアです。

特長1 PowerPoint を画面デザインに使い、そのまま実機につないで確認できる制作スタイル

特長2 メモリが少ないマイコンでも、大画面対応を可能にする性能

「PowerPoint®」でGUIをデザイン→実機で動作

Use PowerPoint® for GUI design and testing

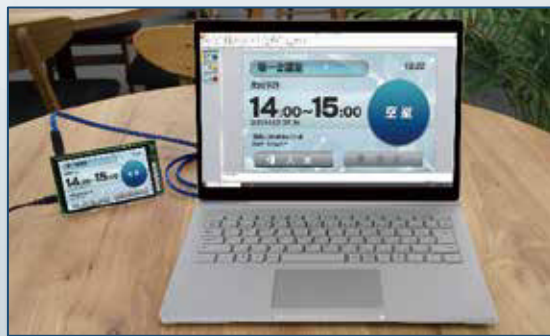
プレゼン感覚で画面を作成

「PowerPoint®」でGUIの画面を作成し、



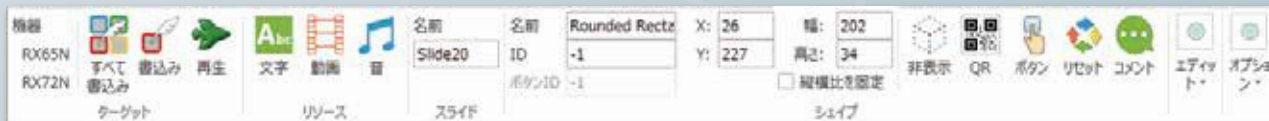
「再生」をクリック、実機で確認

1クリックで転送、実機で画面確認ができます。



Aeropoint リボンで、GUI機能の設定や実機への転送をコントロール

「PowerPoint®」に Aeropoint 専用リボンメニュー（アドイン）が追加され、そのメニューで GUI としての各機能を設定します。実機への転送も、このメニューから 1 クリックでできます。



GUIのバリエーションを簡単に作成

Easy to create multiple GUI designs

機種展開・多言語展開等の GUIバリエーションを簡単に作成

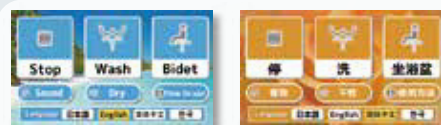
「PowerPoint®」ファイルで画面を管理しているため、バリエーションを作成するのが簡単です。

ベクター画像なので解像度変更にも対応

ベクター画像を採用しているため、劣化せず解像度が異なる機種への展開も可能です。



基本のGUI



ローカライズ（多言語対応）

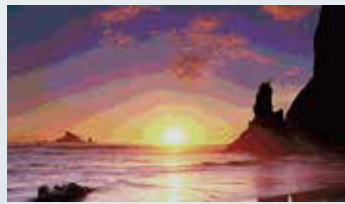


バリエーション展開

少ないメモリでも大画面对応が可能

「Aeropoint GUI」には優れた減色技術が備わっており、256色(8bit)でも24bitカラーに匹敵する階調表現が可能です。
8bitに圧縮するため、メモリが少ないマイコンでも、大画面のGUIを制作することができます。
(例: QVGA→VGA)

通常の減色



OPTPIXによる減色



ソフトウェアだけで高品位な動画再生を実現

ハードウェア描画アクセラレータ機能がないマイコンでも、ストリーミング制御や減色機能を活用し、高品位な動画の再生を実現します。



多言語対応

UTF-8の3バイトコードまでに対応した、独自のフォントシステムを搭載しています。一度に8種類のフォントを搭載できます。



OSレス環境でもGUIと機器を柔軟に接続

Connect GUI to your device without OS

シリアル通信で機器を制御

シリアル通信を用いたコマンドやコールバックのやり取りで制御ができるため、外付け部品感覚で利用できます。

- GUIは独立したモジュールとして動作
- コマンドでコントロール・結果受信が可能



SDKによるソフトウェア制御

ランタイムSDKを用いると、ソフトウェアへの組み込みがC言語で容易にできます。「Aeropoint GUI」のプログラムは非常にコンパクトにまとめられており、OSも必要としません。

※右のmain.cで、「Aeropoint GUI」のすべての機能が動作します

```

1 void main(void)
2 {
3     glibool flag = GIBO_TRUE;
4     /* Initialize */
5     aerolitePlayer_initialize();
6     /* Main loop */
7     while (flag)
8     {
9         /* Main */
10        flag = aerolitePlayer_Main();
11    }
12    /* Finalize */
13    aerolitePlayer_Finalize();
14    return;
15 }

```

PowerPoint アドインの動作環境

必要ソフト	PowerPoint® 2010 以降 (Mac OS 版及び Web 版は非対応となります)
対象 OS	Windows 10 (VM 利用は非保証となります)

ランタイムSDK対応状況

リリース	RZ/A・RX65N・RX72N i.MX・Android・iOS・Linux Windows
開発中	Cortex-M シリーズ RX600・200・100 シリーズ